再評価【番号5】

総合流域防災事業 二級河川吉野川水系 黒谷川



2. 事業概要



3. 整備効果

【マニュアルによるB/C】

便益(B)

- ・家屋、事業所等被害
- ・農作物被害
- ·公共土木施設被害
- ・営業停止被害
- ・応急対策費用など

被害軽減期待額

→便益B=90.87**億円**

(現在価値化後)

費用(C)

- ・建設費
- ・維持管理費(整備後50年間)

費用C=16.97億円

(現在価値化後)

B/C = 5.4

【その他の整備効果】

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

- ①浸水区域内人口の減少
- ②浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③浸水区域内最大孤立者数の減少

<u>医療・社会福祉施設等の機能低下による</u> 被害軽減

①機能低下する社会福祉施設数

ライフライン停止による波及被害の軽減

- ①電力の停止による影響人口
- ②通信(固定)の停止による影響人口

貨幣換算可能な整備効果

<u>交通途絶による被害</u>

経済被害の域内・外への波及被害

水害廃棄物の処分

※水害の被害指標分析の手引(H25試行版)平成25年7月 (国土交通省 水管理・国土保全局)による

4. その他の整備効果

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

浸水区域内人口 636人浸水区域内の災害時要援護者数 243人最大孤立者数 141人

医療・社会福祉施設等の機能低下 による被害軽減

社会福祉施設数 8施設

→災害時の社会福祉体制の確保

ライフライン停止による波及被害の軽減

電力の停止による影響人口 30人 通信(固定)の停止による影響人口 30人

→安心できる住民生活環境の確保

貨幣換算可能な整備効果



水害廃棄物の処分

交通途絶による被害

経済被害の域内・外への波及被害

<u>出水1回当たり</u> 5百万円の被害を軽減 出水1回当たり 37百万円の被害を軽減

<u>出水1回当たり</u> 3百万円の被害を軽減

出水1回当たり被害額 =約0.45億円

5. 河川整備によるストック効果 : 浸水エリア 緊急輸送道路の途絶 (氾濫シミュレーション) 重原の館 (広域運算場所) (鳴門池田線) 那東老人態の家(避難所)(●(防災拠点) 松谷川 町長ふれあいブラザ(遊離所) 反野西小学校 (広域避難場所 ●羅漢老人態の家(選難所) ●板野西消防組合消防署(防災拠点) 旧吉野 健康の館(避難所) 撮影日: 1月 2014 © 2016 Google 黑谷川 避難所へのアクセス 板野町のにんじん収穫量・出荷量 が遮断 泉福寺谷川 25000 450 今後の生産量 400 拡大にも期待 20000 350 図テータ @2016 Google、ZENRIN 300 15000 250 200 10000 春夏にんじんの 150 栽培が盛ん 春夏にんじん生産量 100 5000 徳島県 全国第1位 50 4~5月にかけては 板野町 県内第1位 全国的に圧倒的な シェアを誇る! ■出荷量 ——作付面積 農林水産省作物統計より にんじん生産量の拡大 地域の産業を支える →事業開始当初の約1.7倍 河川整備の実施 ⇒浸水被害の解消 地域の安全・安心 避難所へのアクセス、緊急輸送道路を確保 に寄与!